

インフルエンザ 予防対策について

監修:東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科
薬害監視学講座 教授
針谷 正祥 先生

インフルエンザの流行期※は注意が必要です。

※例年 11月～4月

インフルエンザに感染すると、突然あらわれる高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの強い全身症状と、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状があらわれます。

ヒュミラ®を使用中の患者さまは、以下のことを心がけてください。



インフルエンザ予防対策

流行前

● インフルエンザワクチンを接種する

予防の基本は、流行前にワクチンを接種することです。ヒュミラ®を使用中の患者さまは、ワクチン接種について主治医の先生に必ずご相談ください。

流行したら

- 人込みや繁華街への外出を控える
- 外出時にはマスクを着用する
- 室内では加湿器などを使用して適度な湿度(50~60%)を保つ
- 十分な休養、バランスの良い食事をとり、体力や抵抗力を高める
- うがい、手洗いを励行する



ご家族が感染した場合

- 感染した家族の居室と別にするとともに、マスクの着用を心がける
- 感染した家族からの二次感染を防ぐよう、家庭内でも手洗い・うがい等を励行する

インフルエンザに感染した可能性のある場合は、自己判断せずすみやかに医療機関へ連絡のうえ受診して適切な処置を受けましょう。いつもと違う医療機関にかかる場合は、「ヒュミラ®を使用していること」を担当の先生にお伝えください。

※本資料中、ヒュミラ®皮下注40mgシリンジ0.8mLは「ヒュミラ®」と略して記載しております。



abbvie

ヒュミラ®をご使用の患者さまへ

体調に変化がありましたらご連絡ください

ヒュミラ®のような免疫のはたらきを抑える治療を受けている場合、抵抗力が低下して感染症にかかりやすくなることがあります。

ヒュミラ®使用中（もしくは使用後）に「何かおかしいな?」と思うことがありましたら、すみやかに主治医、看護師、薬剤師にご相談ください。特に下記のような症状があらわれた場合は次の診察を待たず、すぐに連絡してください。

こんな症状が出たら...

風邪っぽい

- ・熱っぽい、熱がある
- ・咳（からせき）、痰がでる
- ・息切れや息苦しさがある
- ・のどが痛む



じんましんが できた

皮フに かゆみがある



皮フや白目が 黄色くなった (黄だん)

口内炎が よくできるよう なった

疲れやすく、 だるさを感じる



連絡をしてください!

施設名・連絡先